



トップメッセージ

NTTグループのESG（環境・社会・ガバナンス）経営方針のもと策定された環境エネルギービジョンでは2030年までにNTTグループ全体の使用電力の30%以上を再生可能エネルギーへ転換することを目指しており、私たちNTT研究所は、IOWN（Innovative Optical and Wireless Network）構想の推進や革新的な環境エネルギー技術の研究開発により貢献する役割を担っています。また、NTTグループは研究開発によって得られた技術によりグループ各社と連携し『Your Value Partner』として、社会やお客さまの変革（デジタルトランスフォーメーション）を支えることを目標としています。

研究開発による持続可能な社会への貢献

NTTグループは、自社のCO₂排出を削減するとともに、ICTの活用により地球全体のCO₂の削減に貢献していきます。そのため、NTT研究所ではテクノロジーが環境へナチュラルに溶け込むスマートな世界を実現するため、超大容量・超低遅延・超低消費電力を特徴とするIOWN構想を新たに提唱し研究開発を進めています。本レポートの特集1「環境に貢献する研究開発」では、開発成果による社会の低炭素化に貢献する成果事例を、特集2「ICTによる社会貢献」では、AIとICTを農業と救急救命へ活用した貢献事例と、NTTグループが推進しているIOWN構想を紹介しています。

研究所における環境保護への取り組み

NTT研究所では、1999年から順次取得したISO14001（環境マネジメント）の下、環境保護に積極的に取り組み、NTT研究所で働くすべての人に環境活動が浸透・定着しています。この活動の中で、環境負荷を低減する研究開発、減災対策に貢献する研究開発、および働き方改革に合わせた省エネ・省資源活動を推進しています。

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて引き続き地球環境の保護に貢献すべく、地域貢献活動などに取り組むとともに、これらを通じて生物多様性の保全を推進していきます。

本環境レポートをご一読いただき、忌憚のないご意見ならびにご支援をいただきますようお願い申し上げます。



サービスイノベーション総合研究所
所長 川村 龍太郎



情報ネットワーク総合研究所
所長 立元 慎也



先端技術総合研究所
所長 寒川 哲臣